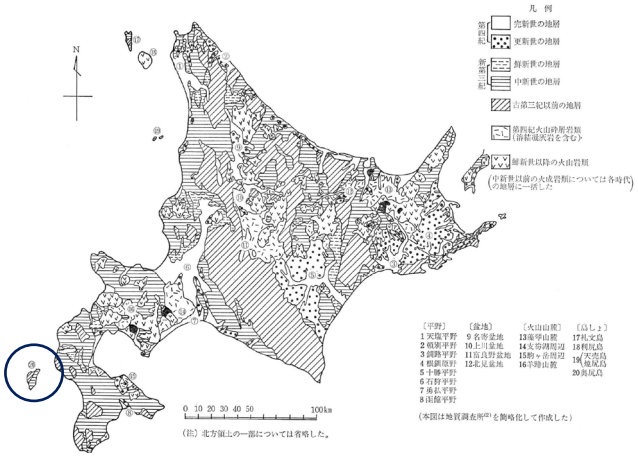
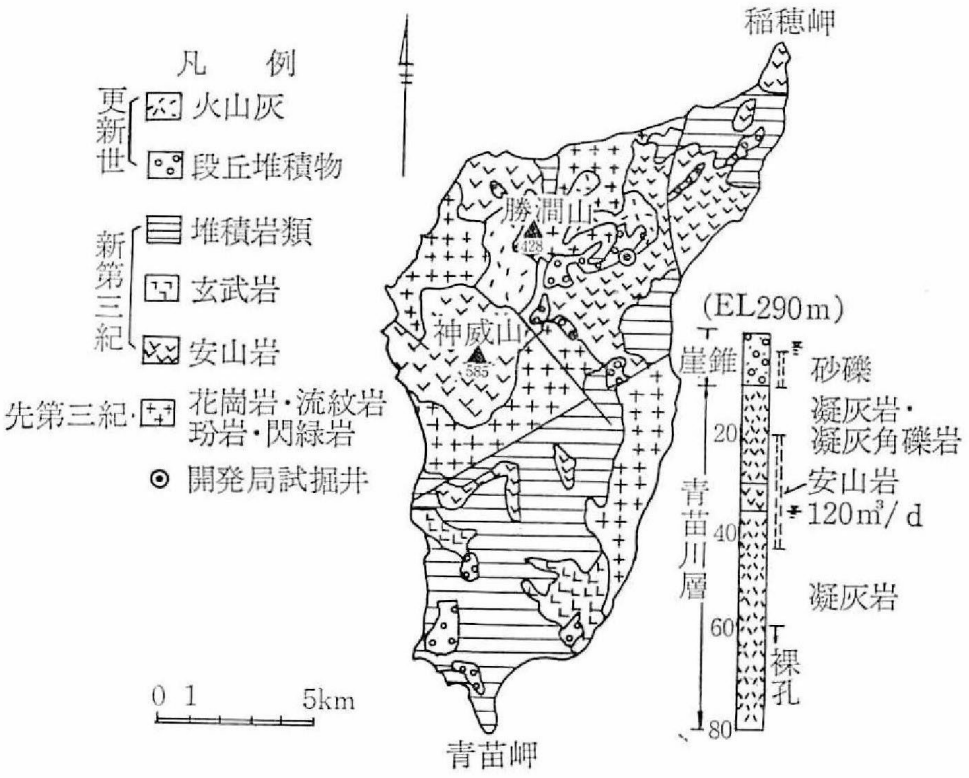
20.奥尻島



地形・地質

奥尻島は，渡島半島の西方約 20km に位置する南北に細長い島です。奥尻島は顕著な海食崖を伴う海岸段丘が発達します。地質は先第三紀の花崗岩類を基盤として，火山砕屑岩，安山岩質溶岩などを多量に含む新第三紀の地層が広く分布します。



奥尻島の地質図

地下水

奥尻島の地下水開発の対象は，基盤岩中の裂か水が中心です。帯水層として期待がもてるのは，新第三紀層もしくはこれに狭まれる安山岩の富亀裂部で，とくに自破砕質溶岩やこれの周辺部に地下水がある可能性が高いです。

奥尻島の地質層序表

時代		地層名	岩相	火成岩類，その他
第四紀	完新世～更新世	海浜堆積層	砂，礫	
		現河床堆積物	粘土，砂，砂礫	
		岩屑堆積層 段丘堆積層 岩屑堆積層	粘土，砂，砂礫 岩塊	
新第三紀	鮮新世	勝澗層	凝灰質砂岩，泥岩 角礫凝灰岩，礫岩	
	中新世	釣懸層	凝灰質砂岩，泥岩 角礫凝灰岩，礫岩	玄武岩 安山岩質溶岩
		青苗川層	角礫凝灰岩，石炭 凝灰質砂岩	石英安山岩質溶岩
先新第三紀				花崗岩

（北海道開発局報告書(2)による）

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）